政治に対し理解を深めよう

女性文化講座 地区ごとに開催

……9日から山ノ下地区で……

女性が家庭の中だけで生活することを要求された時代は過ぎました。男性と共に新しい社会の建設に対する責任の一端を背負わねばならない時代になつたのです。そのためにこそ昭和二十年以来日本の女性も選挙権を獲得することになつたのですが、勿論このことについては、今更くわしい説明を加えるまでもなく、数次に亘る選挙において実際に体験を通して誰でもが知つておられることであります。

終戦以来既に十三年も経過いたしました。世の中も随分進歩し変つてまいりましたが、果して総てが私達の望んでいるような社会に変りつゝあるでしょうか。社会がより良く変る為には、そこに住む私達が、もつと道徳的であり、民主的でお互いの権利を尊重し合い親和互助の精神に徹しなければならないでしょう。それと同時に国の場合においても地方自治体においても、政治が社会を造りなすことも忘れてはなりません。

私達は益々勉強せねばなりません。いろいろなことについて深い理解を持ち、視野の広い人間になつて、そしてそれを行動にあらわして社会建設の責任の一端を果さねばならないでしょう。女性の向上が大きく叫ばれる所以はここにもある訳であります。

市の教育委員会社会教育課では、これまでも婦人の向上を目指して各種の講座を開いて参りましたが、このたび市の選挙管理委員会と共催で主として政治に関係のある諸問題につき、婦人の皆さんの勉強の機会を提供することになりました。

十二月九日、十一日、十三日、十六日及び十八日の五日間は山ノ下公民館を会場として、山ノ下地区の方方を対象として開催することになつていますが、その内容は

○憲法と基本的人権
○民法と婦人の権利
○民主政治の本質
○我が国二大政党の基本的政策
○政治的視野の問題

等がもられ、師走のあわただしい時期でありますが多数の参加者を期待しています。

最近この種の講座に参加される婦人の数は非常に多くなつて参りまして定員のある会場の場合は残念乍らお断りする場合もある訳で、二、三年前と比較しますと大変な進歩であることが感ぜられます。これは明らかに婦人の自覚が高まつて参つた証左でありますが、又それだけ社会の進歩が約束される訳で誠に心強い限りであります。

この女性文化講座は、今後各地区において開催される予定でありますがその際は多数の方々が参加されますようおすすめいたします。

ねずみの話

駆除方法のいろいろ（2）

ねずみの駆除

一、環境的駆除

○食物＝ねずみに食物を与えないような環境にする。即ち台所塵芥箱、食品置場の管理を改める。

○通路＝ねずみの通路をふさぎ物蔭等をなくして活動しやすい場所をなくする。

○巣＝整理整頓し巣が作れないようにすると共に巣の発見に努め取り除く。

二、薬剤又は器具による駆除

環境的駆除と併せて殺鼠剤、捕鼠器等を用いる

○捕鼠器（パチンコ式と生捕りする籠式等）機具をよく調べ餌はねずみの最も好むものを選び配置は壁から約一尺離し十五度位の角度でなるべく物蔭に置くようにする。道具などの配置をかえない方がよい。

○毒餌の作り方と置き方＝毒餌はその環境のねずみが最もよく食べるように、又作り易い材料を考える必要がある。

(1)混合法＝ねずみの好む餌数種と薬を混合して団子（小指先位の大きさ、耳たぶの堅さ、約一グラム）を作りその上にいり糠、砂糖、黄粉等をまぶす。

(2)サンドイッチ法＝パン、甘藷等を小さく薄く切り二枚の間に薬をはさみ細かく切る（五ミリ×一〇ミリ）

(3)包み込み法＝小麦粉、そば粉等で団子を作りその中に大福餅のあんを包み込むように薬を入れその上に前述のようにまぶす。

(4)アン巻法＝前述のように練つたものを板のようにして薬を入れ折りたゝみ、巻すしのようにして一糎位に切りその上に前のようにまぶす。

(5)附着法＝餌の外側に薬をぬり更にまぶす。

○毒餌を置く時はねずみの出入りする眼のつき易い安心して食べることのできる台所の附近とか戸棚、押入れ、物置などの壁ぎわの通路、品物の陰に数個宛（二～三個づゝ紙に包む）を無雑作に夕方から配置する。

この際は捕鼠器を使う場合と同じで、食物を完全に整理して置くことが大切である。

尚翌日、食べたかどうかを調べて二、三日繰り返し後に残つた毒餌は必ず安全な場所へ埋めるか焼き捨てるようにする。

三、殺鼠剤の種類

多種多様のものが市販されているが使用に当つては次の事をよく考えて定めなければならない。

○ねずみが必ず死ぬ事
○ねずみが要心しない事
○人畜に危険が少ない事
○価格が安い事
○簡単に使用できる事
○不愉快な結果が起らぬ事

(1)黄燐製剤
古くから殺鼠剤として用いられているもので、ニンニクのような臭があり暗い所で燐光を発するが、これらの刺戟はねずみはきらわない。市販品（ネオメッソ、猫いらず、メッソ、殺鼠キャットボウ等）

(2)亜比酸製剤
元来亜比酸は白色無味無臭であるが茶褐色飴状に製造し販売されている。市販品（キルソ、ネオサッソ）

(3)アンツウ
やや青味がかつた灰色の細い結晶体で水に溶けなく苦味を持つている。毒の作用は遅く普通死ぬまで一〇～二四時間かかる。市販品（アンツー製剤）

(4)クマリン誘導体製剤＝白色無味無臭の結晶で水に溶けなく他の殺鼠剤と違つて五～六日間続けて喰べさせないとねずみを殺すことができない。市販品（デスモア、ノーモア、クマラン、クマリン、安全猫いらず等）

○フラトール
農村に於て用いられている野鼠用の殺鼠剤で人畜には非常に有害であるため、家ねずみ駆除には使用してはならないことを法律で定められてありますから注意して下さい。

全市一斉にねずみ駆除運動

第一次 12月下旬まで
第二次 1月上旬～2月下旬

文化経済の破壊者であるねずみ駆除は、地区衛生組織並びに事業場など地域社会一体の協力が必要でありますので、市保健所では十一月中旬から明年二月下旬までの期間を通じて町内衛生組織の活発なる実践活動と、学校、官衙、工場、事業所の積極的な協力と共に、駆鼠班によつて科学的で合理的な技術指導を徹底して、ねずみによる精神的経済的の被害、各種疾病の防止及びねずみにより媒介される衛生害虫の駆除を行い健康な生活環境の樹立をはかることになつています。

ねずみのいない健康な家庭をつくりあげるために「全市一斉ねずみ駆除運動」に御協力下さい。

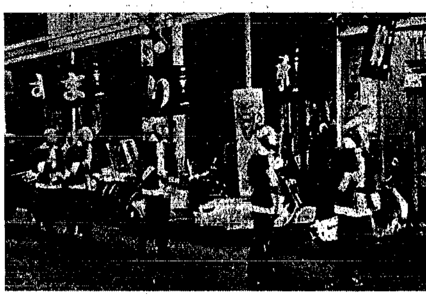
好成績で終つた 社会を明るくする運動

募金額 585,718円

私たちの社会を犯罪のない明るい社会にしようとする運動が去る七月に行われましたが、この運動に市民の皆さんから多大の御協力をいただきお陰を以て次のような好成績で終りましたことに対し深くお礼申し上げその結果を御報告いたします。

社会を明るくする運動募金成績

分区名	区域（公民館）	金額
第一分区	坂井輪、浜浦、関屋	円 72,212
第二分区	鏡淵、白山	60,190
第三分区	新潟、大畑	58,506
第四分区	湊、栄	55,042
第五分区	入舟、豊照、礎	85,136
第六分区	沼垂、万代、長嶺	87,641
第七分区	山ノ下	60,487
第八分区	大形	9,116
第九分区	鳥屋野	21,725
第十分区	石山	26,912
第十一分区	松浜、南浜、濁川	23,174
第十二分区	大江山、両川、曽野木	25,576
合計		585,718



（ねり歩くサンタクロース）

歳末特別貯蓄運動はじまる

――12月25日まで――

十一月十五日から十二月二十五日までの間歳末特別貯蓄運動が実施されます。

今回の運動は〃お手もとの現金はひとまず貯蓄〃〃みのりのよろこびふやそう貯蓄〃〃うまずたゆまず、たゆまず貯蓄〃〃節約と貯蓄で外貨をふやしましょう〃〃明るい歳末、貯蓄で安心〃等の呼びかけの言葉で実施されます。

実施の主な項目は次のようなものです。

○農村方面においては、米の代金等の貯蓄化
○俸給生活者に対しては年末賞与、越年資金等の貯蓄化
○年末、年始における諸行事の簡素化の呼びかけにより冗費の節約と貯蓄
○家計簿による生活の反省と生活設計の呼びかけ等を運動の重点として、講演会、座談会等の開催や、ラジオ、新聞等の報導機関の協力を得て主旨の普及と運動の実践方を呼びかけます。

恐ろしい寄生虫

駆虫はこれからがよい

人体寄生虫のうち、国民保健上一般に問題になるのは、かい虫、十二指腸虫です。

この寄生虫をぼく滅する方法には、体内にある寄生虫の駆除と、外界にある卵、あるいは仔虫の体内に没入することを防ぐことです。

駆除については、医薬を用いますが、予防は便所の改良、糞便処理の合理化等、結局環境の改良がたいせつで衛生思想の向上が先決です。

十二指腸虫 は腸壁に食いついて吸血して生活しています。虫体からは毒素を出し、そのために造血器管の機能が害され貧血、心臓障害、消化器障害を訴える等です。

寄生虫の駆除は冬季が効果的ですから、これから寒にかけて検便と駆虫を行ない、寄生虫の一掃を計るため保健所では皆さんのご相談に応じていますからぜひ一度は御利用下さい。

賑つた市営競馬、競輪

純利益一、四〇〇万円程度にしたいもの

……社会福祉施設の充実に使用……

市営競馬は昭和二十六年度より、市営競輪は、大火復興の一助にと昭和三十一年度より実施して来ましたが、年々その人気は向上し、今年度は競馬四回、競輪二回のうち来る十日より開催される第四回競馬をもつて全スケジュールを終へることになりますが、売上げも昨年に比べグンと向上し純利益も昨年度より相当増収するという見通しがつきました。

売上高から見ますと、競馬は三回迄が一億二、三二八万円で、昨年（三回）と比べ三、一二二万円の増、競輪は二回で八、〇五一万円でしたから、昨年の三回分と比較して一、九三三万円の減少とはなるものの、一回平均を見ますと三六四万円増ですから二回で七二八万円の増加となります。

これに来る十日から開催される第四回競馬の売上予想高四、五〇〇万円を加えますと、二億四、八七九万円で、昨年より五、六八九万円ふえることになりますが、この売上高の一定率が市の収入となるのですが、ここから諸経費、諸掛りを引いたいわゆる純利益を一、四〇〇万円程度にするよう努力しています。

二四億円の予算から見ますと僅か〇、五パーセントですが、苦しい財政にはなかなか貴重な財源となります。

今年度はこの利益を松浜に新らしく建てられる救護院の建設費の一部に使うほか、その他の社会福祉施設の充実や公益の増大に使うこととしていますが、市としてはややもすると批判のある競馬競輪を、家庭スポーツとして大衆から愛されるように大いに努力し市民の公益、福祉の増大をはかりたいと計画しています。

豆辞典

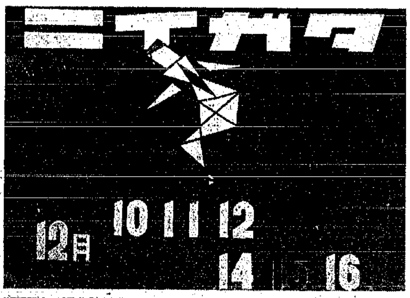
クリスマスいろいろ

ローマ皇帝ディオニシウスが六世紀のころに十二月二十五日をキリストの誕生日とさだめ、それ以後この日をクリスマスとしてお祝することになりました。

クリスマスをXマスと書くのはギリシヤ語でキリストの略字をXで現わしているからです。

ツリーを立てるのは今から四百年前マルチンルーテルが自分の庭に立つていたモミの木に、空から星がおりてきて輝くように見えたことから始つたといわれています。

クリスマスの前夜サンタクロースのじいさんが、子どもたちによい物をくれるのはオランダのセントニコラスというお坊さんの伝説からうまれたお話といわれ靴下に贈物をうけるわけは、オランダの移民が米国に渡つてから始まつたといわれ、はじめはオランダの木靴をおいたものだそうです。

クリスマス・カードは一八四六年英国のサー・ヘンリー・コールの提唱で、ホースレーという人が図案を書いて出したのが最初とのことです。

七面鳥を食べるのは米国人が移民当時の苦労を忘れぬ為の習慣ともいわれ又昔欧洲から十字軍が遠征したさい聖地を占領したトルコ人（ターキー）を攻めるため同じ名前の七面鳥（ターキー）を焼いてお祭りをしたのが起源ともいわれています。